

# PayPay投信ウルトラバランス 世界株式

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

繰上償還(2024年8月26日償還)

作成対象期間(2024年2月27日～2024年8月26日)

償還時(2024年8月26日)	
基準価額	12,016円56銭
純資産額	174百万円
騰落率	6.6%
分配金合計	－円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

### 受益者の皆様へ

平素は「PayPay投信ウルトラバランス 世界株式」(以下、「当ファンド」という場合があります。 )にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび繰上償還となりました。当ファンドは、ウルトラマザーファンド受益証券を通じて、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、国内外の債券先物取引及び商品先物取引に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なっております。信託期間中につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。ここに運用状況等につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

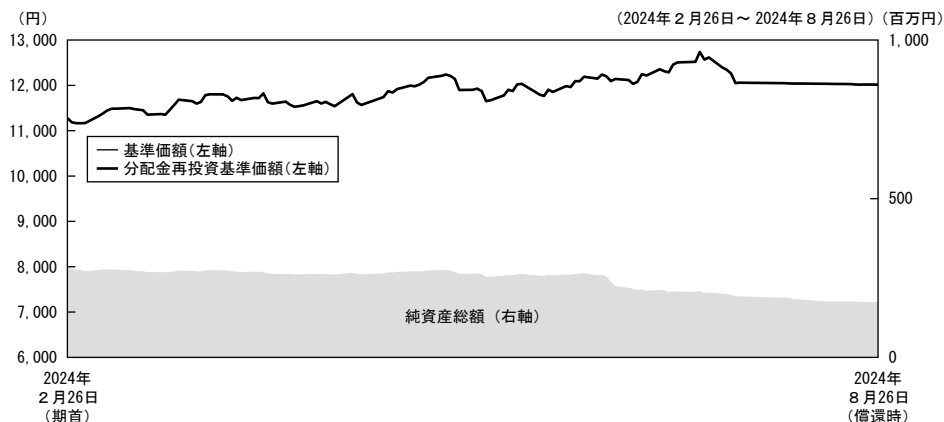
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。 )により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 《運用経過》

## 【基準価額等の推移について】



期首：11,277円

償還時：12,016円56銭

騰落率： 6.6% (分配金再投資ベース)

### ■基準価額の主な変動要因

ウルトラマザーファンド（以下、「マザーファンド」という場合があります。）受益証券を通じて、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、国内外の債券先物取引及び商品先物取引に実質的に投資を行いません。欧米におけるインフレ指標の落ち着きや米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待などを背景に世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。また、米国の利下げ観測の高まりなどを受けて米国の国債先物や金先物が上昇したこともプラスに寄与しました。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 【1万口当たりの費用の明細】

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2024. 2. 27~2024. 8. 26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	34円	0.290%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,773円です。
（投信会社）	(16)	(0.137)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.137)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0.072	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.019)	
（先物・オプション）	(6)	(0.053)	
その他費用	65	0.549	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(17)	(0.141)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(3)	(0.021)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(45)	(0.386)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	107	0.911	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

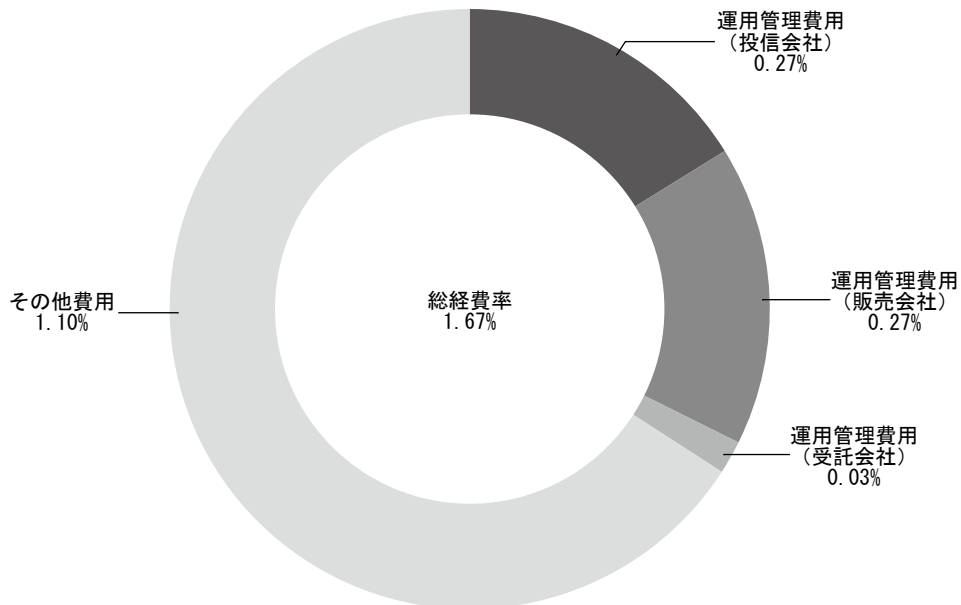
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



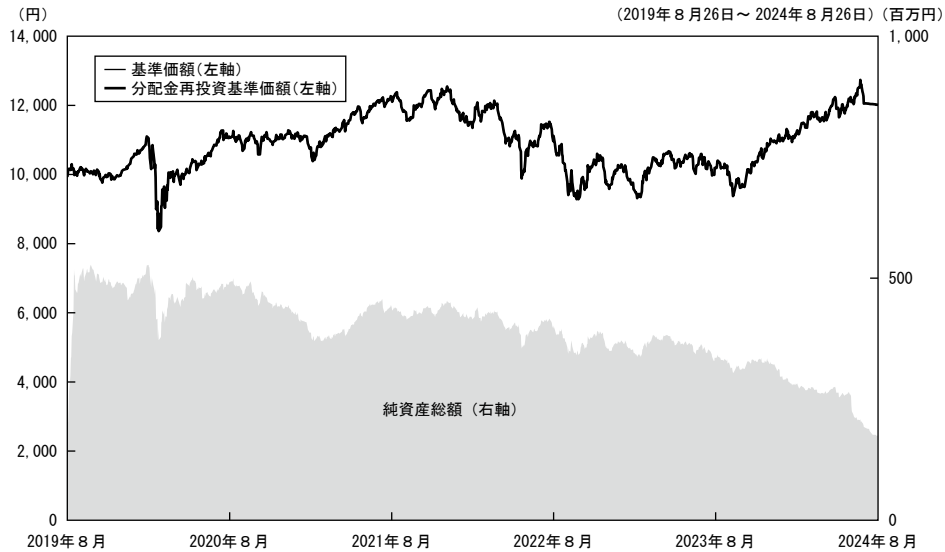
\*費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

\*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値です。

\*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 【最近5年間の基準価額等の推移について】



\*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。  
 \*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2019年8月26日	2020年8月25日	2021年8月25日	2022年8月25日	2023年8月25日	2024年8月26日
基準価額 (円)	—	11,096	12,249	10,964	10,191	12,016.56
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	10.4	△10.5	△7.1	17.9
純資産総額 (百万円)	—	492	443	395	335	174

\*当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。  
 \*当ファンドの設定日は2019年8月23日であり、—印は表示可能な値がないことを示しております。また、2019年8月26日は当ファンドの決算日ではないため、表示していません。

## 【信託期間中の投資環境について】

世界各国の株式は、コロナ禍での積極的な金融緩和や米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待などが押し上げ材料となり上昇しました。一方、欧米におけるインフレ圧力や金融引締めなどを背景に長期金利は上昇基調で推移しました。

世界各国の株式は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に下落する場面も見られましたが、主要中央銀行による積極的な金融緩和やワクチン普及による経済活動の正常化などが押し上げ材料となり、2021年後半にかけて上昇しました。その後も、米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待などを背景に堅調に推移しました。

米国の10年物国債の利回りは、経済対策実施に伴う国債の増発懸念やインフレ抑制に向けた金融引締めなどを背景に2023年後半にかけて上昇（債券価格は下落）基調で推移しました。その後は、インフレ指標の落ち着きを受けて金融引締め長期化観測が後退したことなどから低下（債券価格は上昇）しました。フランスの10年物国債の利回りは、2021年後半までもみ合いで推移した後、欧州圏のインフレ圧力やエネルギー価格の上昇などを背景に上昇し、その後は再び方向感の無い動きとなりました。わが国の10年物国債の利回りは、日本銀行が大規模緩和の修正に踏み切ったことや金融政策正常化観測が根強く残ったことなどから上昇基調で推移しました。

米国の金先物は、米ドル安が進む中、安全資産として買われた一方、米国金利の上昇などを背景に売られるなど2022年後半にかけて概ねレンジ内での動きとなりました。その後は、各国政府・中央銀行による金の購入や中東情勢を巡る地政学的リスクの高まりなどが押し上げ要因となり上昇しました。

## 【信託期間中のポートフォリオについて】

### 〈PayPay投信ウルトラバランス 世界株式〉

当ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、国内外の債券先物取引及び商品先物取引に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本としています。

当ファンドは、設定来、運用の基本方針に則り、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

### 〈ウルトラマザーファンド〉

設定来、運用の基本方針に則り、投資信託証券を通じて世界各国の株式に投資するとともに、国内外の債券先物取引及び商品先物取引を活用しました。資産配分については、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資割合は信託財産の純資産総額の80%程度、米国の国債先物取引は買建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額の70%程度、フランスの国債先物取引は同70%程度、わが国の国債先物取引は同35%程度、米国の金先物取引は同35%程度で推移させました。なお、世界各国の株式への投資は、上場投資信託証券である*iShares MSCI グローバルミニマムボラティリティファクター・ETF*を通じて行ないました。

## 【ベンチマークとの差異について】

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## 【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。

受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。今後とも投資信託の運用につきましても、投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力してまいりますので、より一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

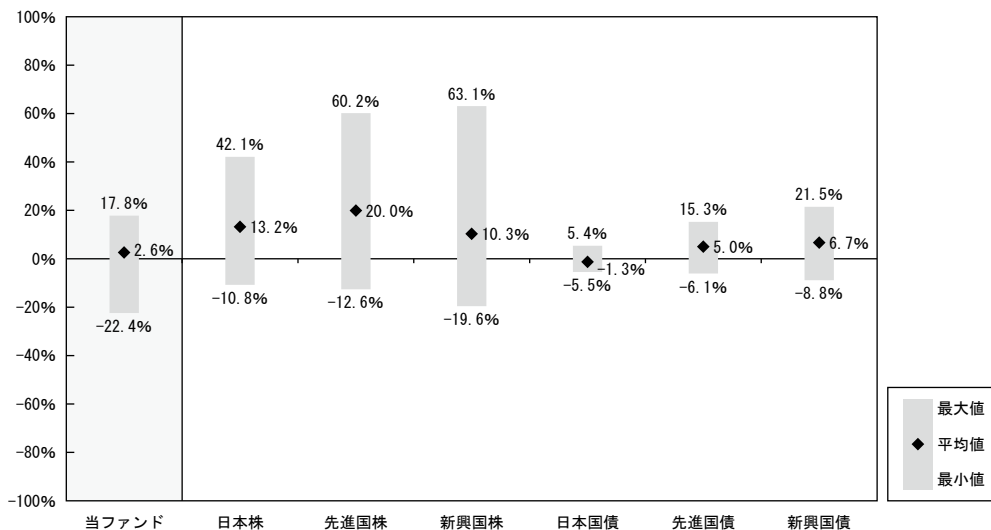
## 《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。	
運用方針	この投資信託は、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。	
主要投資対象	PayPay投信 ウルトラバランス 世界株式	ウルトラマザーファンド（以下、「マザーファンド」という場合があります。）受益証券を 主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国 投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいい、この 投資信託においては、上場投資信託証券とします。）、国内外の債券先物取引及び商品先 物取引に投資を行いません。
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券を通じて、主として、投資信託証券、国内外の債券先物取引及び商品先物取引に投資を行いません。</p> <p>②マザーファンドの運用にあたっては、投資信託証券を通じて世界各国の株式に投資するとともに、国内外の債券先物取引及び商品先物取引を積極的に活用します。投資対象資産や資産配分等の決定は、期待収益率やリスク水準、投資環境等を勘案した上で行いません。</p> <p>③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行いません。</p>	



## 〈 参 考 情 報 〉

## ◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・ 上記は、2019年8月から2024年7月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては過去5年分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。

・ 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

## 《ファンドデータ(2024年8月26日現在)》

## 【当ファンドの組入資産の内容】

有価証券等の残高はありません。

## 【純資産等】

項 目	償還時
	2024年8月26日
純 資 産 総 額	174,677,316円
受 益 権 総 口 数	145,363,815口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額	12,016円56銭

\*当期中における追加設定元本額は11,503,727円、同解約元本額は116,593,143円です。